

議会だより



なかさつない



真新しい制服に身を包み、中学校生活への期待を膨らませる新1年生（中札内中学校入学式）

3月定例会 p 2～8

- 平成29年度一般会計予算
- 平成28年度一般会計補正予算
- 条例の制定・改正
- 意見書、請願、陳情

一般質問 ～4人の議員が登壇～ p 8～10

第1回臨時会、編集後記 p 10

政策的事業盛り込まず一般会計は約37億円

費用対効果向上へ論議白熱

議案22件を原案可決

平成29年3月定例会

中札内村議会定例会は3月7日に招集され、会期を17日までの11日間とし行われました。

7日は、議案13件が審議可決されました。

再開の10日には、夜間議会も開催し、4人の議員が一般質問を行いました。

13日からの本会議では、予算に関連する議案2件及び新年度各会計予算案6件、補正予算1件を審議して、16日に閉会しました。

新年度予算の主な審議内容

平成29年度予算審議における質疑・答弁の主なものを掲載します。
(金額は歳出のみ掲載)

歳出

◎一般会計

◆市町村交流事業

○アンテナショップ運

営委託料600万円

○アンテナショップ物
品借上料 80万円
○アンテナショップ記
念品 2万4千円

(問) 川越市でのアンテナショップ出店だが、具体的な内容は、

(答弁) 丸広百貨店川越店地下1階に23平方メートルの店舗を出店するも



中札内村特産品を売り込む川越市アンテナショップ

ので、常設の売り子を配置し、加工特産品、小規模企業支援事業を活用して作られた商品などを展示・販売する。また、夏・秋のイベントでは、出品者・村職

員が参加して農産物販売などを行い、中札内村のPRを行う。

(問) 物品借上料の内容は、

(答弁) 冷凍・冷蔵シンキーケース各1台と陳列棚1台を配備する。

(問) 記念品とはどの

ようなものを配布するのか。

(答弁) オープン時、一定額以上の買い物客に卵4個をプレゼントする。

(問) 他の丸広百貨店店舗へ拡大する考えは、

(答弁) 当面は1店舗で行い、効果について検証したい。

(問) 行政だけでは不足する広報活動や販売戦略のアドバイスを受けるなどの体制はどのように構築されるのか。

(答弁) 丸広百貨店との連携を密にし、多様な周知活動が行われるよう協議を進めるとともに、販売戦略のノウハウも学んでいきたい。

(問) 売り子や冷蔵庫などの物品に係る経費は中札内村の負担だが、いつまで負担していく考えか。

村長選挙控えて平成29年度は骨格予算

川越アンテナショップ開設等

平成29年度は、村長選挙を控えていることから、一部政策的予算が反映されておらず、一般会計と5特別会計の全会計総額が前年度対比15.2%減の49億1,660万円となりました。

旧中札内保育所等の公共施設の解体撤去工事、公営住宅改修工事などの普通建設事業と、子育て支援策の推進や定住促進施策の継続、中札内まち・ひと・しごと創生総合戦略事業に基づくソフト事業・ハード事業を盛り込んだ、安心・安全な生活の質的向上とブランドイメージを高めることを目指した予算編成となりました。

一般会計 歳出の概要

(単位：万円)

款	平成29年度	平成28年度	増減額	事業例
1 議会費	4,055	4,713	△658	インターネット中継 (20)
2 総務費	5億3,924	4億8,770	5,154	70周年記念式典 (133)
3 民生費	6億3,839	6億1,714	2,125	緊急通報システム (370)
4 衛生費	2億4,389	2億5,525	△1,136	七色献立プロジェクト (381)
5 労働費	698	703	△5	冬季雇用対策特別事業 (164)
6 農林業費	4億3,825	4億2,696	1,129	新・元気な畑づくり事業 (600)
7 商工観光費	1億5,118	1億8,462	△3,344	札内川園地受電復旧工事 (294)
8 土木費	3億5,215	6億3,457	△2億8,242	公営住宅火災警報器更新 (593)
9 消防費	1億5,262	1億5,114	148	ハザードマップ更新・防災備品購入 (119)
10 教育費	4億3,774	11億 176	△6億6,402	多目的運動施設調査費(旧プール) (143)
11 災害復旧費	9,327	0	9,327	戸蔭大橋復旧工事 (9,327)
12 公債費	4億3,936	4億 64	3,872	借入金の返済
13 諸支出金	1億5,719	1億8,385	△2,666	
14 予備費	500	500	0	
歳出合計	36億9,580	45億 280	△8億 700	

(答弁) 地方創生事業の2カ年を目途と考えており、結果によっては事業者自らの負担や

共同事業化なども考えられる。

(問) 観光協会も関わ

るが、観光PRも行う考えか。

(答弁) ショップの一部に観光コーナーの

ペースを設ける。(問) 村長・職員が直接現地でPRするほか、

テレビや新聞社などのメディアを使つてのPRが有効と考えるが、取組み状況は。

(答弁) 3月末に、百貨店や市役所との最終協議を行うが、できるだけ幅広いPRに努める。オープン時や夏・秋のイベントで村職員も参加するので、先頭に立ち広報・PR・販売に関わりたい。

◆福利厚生費

○ストレスチェック委託 11万7千円

(問) 今年度のストレスチェックでは、その結果を受けて何か取組みを行っているのか。

(答弁) 全国平均との比較では、ややストレスの少ない職場との結果が出ている。連動した取組みとして、ストレス対応の研修会を行っている。

◆財産管理費

○公共施設解体撤去等工事

5513万4千円

(問) 上札内消防会館と上札内プールの解体後の跡地利用の考えは。

(答弁) 現段階で跡地利用の考えはもっていない。

○関連質問

(問) 公共施設への新電力導入取進めの状況は。

(答弁) 新電力会社の倒産により、安定供給に支障が出たケースがあり導入が遅れている。現在、2社から効果額比較表を取寄せ検討段階にある。

◆コミュニティバス運行管理費

○コミュニティバス運行管理委託

827万6千円

(問) 停留所以外での乗降車ができることや

お年寄りだけでなく若年者の利用も可能ということを知らない村民もいると考えられ、さらなるPRが必要ではないか。また、ボロシリ大学開校日に利用できる運行を検討しては。

(答弁) 住人や利用者とは都度、意見交換をしており、効率化が図れるのであれば臨機応変に対応していきたい。

◆まちづくり推進費

○看板作成委託

53万5千円

(問) 日本で最も美しい村連合ロゴマークは、中札内村の加工品等への使用は可能なのか。

(答弁) 連合の準会員となり、使用承諾を得る必要がある。

○中札内花咲くコンサート補助金

800万円

(問) 昨年度実施の反省をふまえて、どのよ

うな内容での実施を考えているのか。

(答弁) トイレ不足や障害のある方の駐車場などの課題があったが、反省を生かせるよう取り組みたい。また、来村者への中札内村のPR方法について検討する。

○ふるさと納税謝礼

800万円

(問) 平成29年度は、

寄付金決済方法や返礼品の拡充、高額寄付者を受け入れる方策などの検討はされているのか。

(答弁) コンビニ決済の導入を検討していく。また、返礼品は新たなセットを検討しているが、高額寄付を受ける方策は現在のところ考えていない。

◆社会福祉員費

○社会福祉員報酬

111万9千円

(問) 民生委員の担い手が見つからない状況

にあり、報酬費の上乗せの検討が必要ではないのか。

(答弁) 北海道が負担する報酬費に中札内村が上乗せしているが、各委員全体の課題として現状のままで良いとは思っていない。

◆母子保健事業費

○特定不妊治療費

30万円

(問) 男性不妊治療費が追加されるが、助成内容は。

(答弁) 特定不妊治療と一緒に行った場合に、北海道が行う15万円の助成に中札内村が7万5千円の上乗せ助成を行う。

◆健康づくり一般経費

○関連質問

(問) 七色献立プロジェクト事業はどのよう

に取組まれるのか。

(答弁) モニター事業として、野菜による栄

◆国保特定健康診査等事業

○特定健診等委託

409万円

(問) 国保健康診査受診率が半分以上だが、受診率向上のための取り組みの考えは。

(答弁) 若い世代からも健康に対する関心が高まるよう取組むことや健診の重要性について伝えていきたい。

養バランスの効果を知ってもらう料理講習や運動プログラムなどを受けていただき、その普及効果を図りたい。また、野菜生産者と連携し野菜消費の拡大を目指し、平成29年度には野菜料理レシピ集を完成させ販売する。



モニター事業を導入する七色献立プロジェクト
(写真は料理講習会でのメニュー)

◆農業委員会費

○農業委員会委員報酬

513万4千円

(問) 農業委員の活動日数の多さに対して報酬が少ないと感じるが、見直しは検討されているのか。

(答弁) 特別職等報酬審議会で説明し、状況は理解されており、他の委員も含めて見直しの時期に来ているとの感触はもっている。

◆農業振興費

○新・元気な畑づくり

事業補助金

600万円

(問) 新たに5年間行われるが、メニューはアンケート調査の結果によるものなのか。また、5年間で見直す考えはあるのか。

(答弁) メニューはアンケートによる要望を踏まえ調整したものだ。道営土地改良事業の状況なども見据え必

要があれば見直しも考えたい。

(問) 市街地近隣における堆肥助成が廃止されたが、臭い軽減対策として必要なメニューではなかったのか。

(答弁) 堆肥助成の利用実績が少なく、臭い軽減対策は根本的な見直しが必要と考えている。

○農業担い手育成センター交付金

180万円

(問) 配偶者対策として、専任の推進員を置き積極的に取組む必要があるのではないのか。

(答弁) JA青年部とタイアップし婚活事業を行ってきた。専任の推進員を置くことは難しいが、村で行った講演会講師からもノウハウを頂き、ニーズを捉え取組む。

◆畜産振興費

○関連質問

(問) 台風被害もあり、畜産農家の需給飼料の供給悪化が心配されるが、村として支援策の考えはあるのか。

(答弁) 農業発展方策の会議の中でも餌に関する話題はなく、現段階では検討を行っていない。

◆札内川園地管理費

○関連質問

(問) 札内川園地は、レストランびよろや滝見橋もなくなり、台風被害の影響もあり入込み客数が減少しているように感じるが、観光名所としてその対策は考えられているのか。

(答弁) 状況をしっかりと把握し、平成29年度に対策などの計画を定めた。

◆商工振興費

○関連質問

(問) まちなかにぎわいづくり委員会から、食をキーワードとしたまちなか魅力向上の提言を受け、大分県大山町の先進地視察も行うなどしているが、今後の取組みはどうされるのか。

(答弁) 大山町では、レストラン経営におけるコンセプトやストーリー性、将来を見据えた取組みや人材育成など、ヒントを得るとともに中札内での課題を感じた。平成29年度にはどのような取組みができるか全体像をまとめた。

◆道の駅関連施設管理費

○関連質問

(問) 現在、花水山の拡張工事が進められているが、開村70周年に絡めたアピール戦略は練られているのか。

(答弁) 中札内村看板

料理グランプリを開催する予定でいる。開村70周年のPRも兼ね、ご当地グルメにつながる取組みとしたい。

◆道路改修費

○道路改良舗装工事

3670万円

(問) 平成29年度のまちづくり計画にある道路改良舗装工事等で、当初予算に計上されていないものはどのようなに進められるのか。

(答弁) 平成29年度は村長選挙年であることから骨格予算であり、交付金のある工事は当初計上しているが、他の工事についてはそれなりの時期に補正対応する。

に向けた取組み状況は。

(答弁) 応急措置は中札内村ですでに終えており、橋脚の改修などについては国で行うことになっている。

◆防災会議費

○防災用備品

77万3千円

(問) どのような防災備品を購入するのか。

(答弁) 石油ストーブや照明器具、ガスコンロや避難所間仕切りテントなどを購入する。

○印刷製本費

41万8千円

(問) ハザードマップはどのような修正を行うのか。

(答弁) 帯広開発建設部のハザードマップが見直され、札内川の浸水区域が新たに発布されたことに伴う修正を行う。

○関連質問

(問) 2月25日に職員に対する抜打ちの非常招集訓練が行われたが、どのような課題が見つかったのか。

(答弁) 遠隔地にいる職員は招集せず、60%の招集率で、90%が30分以内に集まった。深夜の携帯電話の管理など、緊急的な備えを徹底する必要がある。

◆教育振興費

○コミュニティ・スクール委員報酬

48万円

○コミュニティ・スクール交付金

85万5千円

(問) 共育の日の具現化をコミュニティ・スクールで行うと理解しているが、どのような事業にどのように住民が参加していくものなのか。

(答弁) 学校での授業や総合的学習の時間で

の教員サポートにこの

組織の住民が関わっていくことで継続的に取り組んでいける。また、新たな事業では、小中学校から要望のある登下校の見守り活動や水泳授業の指導を平成29年度から取組む。

◆調理場管理費

○関連質問

(問) 札幌市の学校給

食調理場で、煙突のアスベストの剥離により何週間か給食の提供が止まったことがあったが、教育関係施設で同様のものはないのか。

(答弁) 煙突に使われているアスベストでは、飛散の恐れがある上札内交流館は被覆工事を終えている。他の施設ではそのような状況は見られず、今後も適正に管理していく。

◆中札内小学校管理費

○教室床張替工事

864万円

(問) カーペットタイ

ルをビニール系床材に張替えるものだが、普通教室のほか特別教室も行うのか。

(答弁) 特別教室は傷みが激しいわけではなく、普通教室6教室の張替えを行う。

◆中札内中学校管理費

○修繕料

104万5千円

(問) 以前、バスケットゴールが耐震性不足との報告があったが、改修費はこの修繕料に含まれているのか。

(答弁) 小中学校の天井付きバスケットゴールが耐震改修必要ありとの判定を受けているが、小学校では授業での利用がなく、全体的に一般開放での利用もないことから補強すべきか撤去すべきかの判断ができておらず、平成29年度の当初予算に

は計上していない。

◆体育施設管理費

○屋外多目的運動施設調査委託

142万6千円

(問) 過去の経過から、平成29年度にゲートボール場を兼ねた多目的運動施設の設計が着手されるはずだったが、調査だけを行うのは何故か。また、その後はどのように取進められるのか。

(答弁) 現在のプールを多目的運動施設に改修する計画であり、構造などが改修に耐えられるものかを調査するもので、実施設計に向けたステップとして行う。今後手順を踏み、平成30年度完成を目指したい。

◆文化振興費

○文化奨励振興事業補助金

350万円

(問) ポストビエンナ

ーレ事業として美術大学との連携事業が計画されているが、どのような内容のものなのか。

(答弁) 武蔵野美術大学との連携事業だが、複数名の学生を招いて、2週間程度村内で創作活動を行いながら、小中学校での交流や図工・美術授業のサポート活動をしていただく。

◆体育振興費

○スポーツ振興奨励事業補助金

125万円

(問) 2月に明治オーバルで開催されたアジア大会で、中札内村出身の押切選手が出場し活躍していたが、村民の応援が少なかった。教育委員会が音頭をとって盛り上げるべきではなかったのか。

(答弁) スクールバスに横断幕を貼ることやポスターを掲示するな

どの取組みを行っていたが、会場での応援の知識がなく、他選手を応援する横断幕などを目にして気がついた。今後、同じような機会があれば横断幕を揚げたい。

○関連質問

(問) スケートで活躍し村民栄誉賞を受けた石澤さんと押切さんのメモリアルコーナーが設置されるが、彼女たちの経験を子どもたちに伝えることも大切と考えるが、その検討はされているのか。

(答弁) 現段階ではそのような計画はないが、学校で行うことが効果的と思われるので、検討してもらえよう伝えたい。

○手数料(プールオー

プニング事業講師派遣、水泳教室)

153万1千円

(問) 新しいプールでは大人向けの事業も計画されているが、通常時の大人の利用に対する配慮はどのように考えられているのか。

(答弁) 少年団と大人の利用するコースを区分し、混在せず利用できるよう配慮する。また、団体の利用状況を住民に知らせるため、メール配信やホームページ

◆図書館振興費 ○図書・AV資料購入

240万円

(問) 以前は300万円だった購入費が240万円まで減額されており、図書館の活性化のためには予算維持すべきと考えるが。

(答弁) 図書はリクエスト購入や道立図書館や他市町村との連携による貸し借りも行っており、利用者

者の不満がないよう対応していく。

歳入

◆準過疎地域指定要請

(問) 養護学校の開校等で過疎指定地域を外れた後、昨年も準過疎地域指定拡大により財政的不利が是正されるよう要請を行っているが、その見通しは。

(答弁) 要請は行っているが、制度化の見通しはない状況にある。佐賀県だと思うが、県

が独自の制度で救おうとしており、北海道には政策的な配慮がされるよう要請を行っている。

◎国民健康保険特別会計

◆国民健康保険税

(問) 国民健康保険の運営が市町村から北海道に移管されるが、今後のスケジュールはどのようなになるのか。

(答弁) 保険料の3回目の仮算定が8月に行われ、秋の本算定後に

新たな保険料が示される見込みである。1年での負担増は5%以内に抑えることで調整さ

れており、その詳細は広報等で村民の皆様にお知らせしていく。

庁舎建て替えを国が助成へ

補正予算

補正予算審議の中で質疑のあった主なものを掲載します。

される。

◇農業振興事業費

(産地パワーアップ事業補助金)

6312万1千円

(問) いんげん收穫機

は更新を行うものか。

(答弁) 台数を増すもの。

◇財政関係基金費

(庁舎整備基金積立)

1億5000万円

(問) 熊本地震での役場庁舎被害を教訓とし、庁舎建替えの国による優遇促進策が平成29年度に創設されるが、その助成等の内容は。

(答弁) 中札内村の庁舎は、建設年度で新制度の対象となり、対象経費の90%が起債(借入)対象で、起債額の75%を上限に元利償還金の30%が交付税措置

◇除雪費

(除雪委託)

1300万円増額

(問) 2月中旬に、削り寄せた道路面の雪が凍り、結果的に排雪が困難になり住民に迷惑をかけたが、そうならないように配慮した除雪が必要ではないのか。

(答弁) 市街地住民の皆様に迷惑をかけたこ

とは十分認識している。

その後、かた落しを行い、対策を講じたが、住人の皆さんには大変な中、協力を頂いたことにお礼を申し上げたい。

指導主事

今後3年は更別が執務担当に

条例等の制定・改正

条例の制定及び改正された主なものを掲載します。

◇中札内村及び更別村指導主事共同設置規約の全部変更

共同設置の指導主事に係る業務執務は、更別村と3年ごとの交互で担っており、来年度からの3年間は更別村が執務担当になることから、執務に関する規約の内容を改正するものです。

原案通り可決



完成した石澤さん、押切さんのメモリアルコーナー

◇中札内村国民健康保険事業基金条例の一部改正

平成30年度の国民健康保険制度の改定に対応するため、国保事業の運営全体に基金使途を拡大することや、基金積立は決算上剰余金限定であったものに、「予算の定めるところにより」を加えるものです。

原案通り可決

◇中札内村畑地かんがい用水施設設置及び管理条例の一部改正

畑かん給水栓の使用料が一使用者3栓までの徴収の定めであり、それを超える使用実態に対応するため、「2栓目以降」の使用料設定に改め、公平性を確保するものです。

原案通り可決

◇中札内交流の杜設置条例の一部改正

交流の杜使用料を中札内村の収入から指定管理者の収入に変え、指定管理者の努力による利用拡大を誘引しようとするものです。

原案通り可決

請願

◆高等教育段階における学生等への経済的支援の充実を求める意見書の採択を求める請願

意欲と能力はあるが経済的に困難な状況にある者に対して、高等教育段階への進学を断念すること無く質の高い教育が受けられるよう、学生等への経済的支援の充実を求める意見書を採択されるようお願いします。

提出者 中札内村地区連合会

—請願は採択となり、同趣旨の意見書を関係機関に提出しました。—

陳情

◆JR北海道・JR四国・JR貨物に係る税制特例の恒久化等を求める意見書の採択を求める要請

地域のローカル線を多く抱え大きな収益の柱が無いJR北海道・JR四国は、少子高齢化や地方の過疎化が急速に進む中、何とか経営を維持してきたのが実態である。

また、全国一元経営で老朽資産を多く保有するなど構造的問題を抱えるJR貨物も、非常に厳しい経営状況が続いている。

当該各社の経営自立にむけた安定的な運営と地域交通や鉄道貨物ネットワークの維持・発展のため、2017年度の税制改正においては、税制特例措置の支援継続や恒久化が図られるよう強く要望する。

提出者 中札内村地区連合会

—陳情は採択となり、同趣旨の意見書を関係機関等に提出しました。—

いっぱん質問

一般質問

一般質問では、議員が行政全般の事務の執行状況や将来の方針などの報告・説明を求めて質問を行いました。
一般質問は、定例会ごとに年4回行われています。

鳥インフルエンザ対策

田村村長

防疫計画を早期に作成

行政としての対策は

宮部議員



宮部修一議員

昨年12月に十勝管内でも高病原性鳥インフルエンザが発生し、大きな衝撃が走りました。

中札内村も昔から多くの採卵鶏・ブロイラーが飼われている養鶏業の盛んなまちであり、中札内といえば卵・鶏のまちということで、

全道にも中札内村の認知度を高めている産業です。

この冬に猛威を振るった高病原性鳥インフルエンザは、今後も気温の上昇に伴い、渡り鳥の移動も5月頃までは活発になり、気が抜けない状況が続くと予想されます。

①病気を発生させないために、行政としてどのような対策をとられたのか。

②発生してしまった場合の対処方策を定めた

防疫計画が、北海道などと連携して作成されているのか伺います。

田村村長

1点目の行政としての対策は、家きん飼養者に危機意識をもって飼養管理されるよう促し、自衛防疫組合から石灰の配布を行っています。

2点目の防疫計画の作成は、現在、北海道が課題整理のため現場の再確認を行い、各関係機関との連携により防疫計画を作成中ですので、村もより多くの情報を収集し、中札内村家畜伝染病防疫対策本部設置要綱の見直しと、鳥インフルエンザ発生の際に、農場ごとに対応が出来る防疫計画を早期に作成します。

田村政の
自己評価

次期村長選挙出馬の意向は

黒田議員

田村村長

現時点で判断なし



黒田和弘議員

3期目のスタートに
田村村長は、第1に5
本の柱と33項目の施策
の実現、第2に選挙期
間中に村民から届いた
意見・批判を受け止め、
「住んでみたい、住ん
で良かった、ずっと住
み続けたい」と思える
村づくりを全力で取組
む、第3に村民との対
話不足について、個人
だけでなく団体との対
話も必要なので積極的
にやっていきたいと村
民に約束しましたが、
どのように自己評価さ
れているのか。
また、次期村長選へ

の出馬の意向を伺いま
す。

田村村長

私の公約である5分
野33項目は、職員への
周知徹底、各種団体と
の意見交換、「まちづ
くりトーク」の開催な
ど、村民との対話と協
働を心掛け、まちづく
りの課題を共有しなが
ら要望や意見を聞き、
村づくりに反映してお
り、それぞれの施策は、
健全財政を堅持しなが
ら推進してきました。
自己評価では、及第
点を頂けると考えます
が、最終評価は、村民
皆様の視点や歴史の評
価に委ねたいと考えま
す。
出馬の意向について
は、現時点で判断して
おりません。

日本で最も
美しい村

中期展望を持ち職員一丸で

森田議員

田村村長

横断的連携を含め計画策定



森田匡彦議員

本村は「日本で最も
美しい村連合」に加盟
しましたが、そのブラ
ンドイメージを生かし
て村民福祉に資するた
めには、中期的な展望
を掲げ、組織頼みでな
い主体的な取り組みが必
要です。住民への浸透、
景観やアートと文化の
維持・発展、そして役
場全体の仕事として取
組む意識の共有化をい
かに図るか、見解を伺
います。
田村村長
今回の「日本で最も
美しい村」認証で、さ

らなる景観意識の高ま
りにつなげていきたい
と考えています。村全
体に「美しい村をつく
る」という意識が根付
くよう、関連する事業
をまとめて中期プラン
を策定し、その中で職
員の体制づくりも検討
したいと思っています。平

成29年度は景観懇談会
や景観ツアー、景観シ
ンポジウムなどを開催
して浸透を図るとも
に、子どもたちにも景
観学習の継続を通して
郷土愛を育む機会とす
る考えです。
また、耕地防風林植
栽への助成や大学と連
携したアート推進事業
などで地域資源の維持・
発展に努めます。

の用
バス活
ミ効
コ有

田村村長

ニーズ把握と周知に努力を

森田議員

森田匡彦議員

コミュニテイバス「く
るくる号」は、交通弱
者の大切な「足」とし
て期待されています。

かに改善する姿勢が求
められますが、どのよ
うな対策を講じ、また
課題をどうとらえてい
るのか伺います。

福祉施策として、利用
方法に関する十分な周
知と、利用者ニーズを
適格に把握してきめ細

田村村長

10月の運行開始から
5カ月間で、市街地線

の利用は延べ658人
です。試験運行より乗
車率が高く、利用者の
声も好意的なものがほ
とんどです。従前の福
祉バス事業を引継ぐ農
村部線の利用は延べ83
人で、利用者は固定し
ていると感じています。
老人クラブ3会の例
会とポロシリ大学で運
行ルートと乗り方を説
明し、意見交換してい
るほか、保健センター
でも要望を聞き、乗車
調査も行っています。
一層の浸透に向けて
ホームページや広報で
の紹介を継続し、高齢
者向けだけでなく、子
育てサークルなど若い
世代への説明も予定し
ています。また、新た
に試乗会も考えていま
す。随時臨機に利便性
を確保していきます。

道の駅のリニューアルと今後の運営

出店者の意向反映は

北嶋議員

田村村長

テナント会の意向を聞き整備



北嶋信昭議員

本村の道の駅は全国的にも人気があり有名になっています。

リニューアル10周年を経て花水山の物産販売スペースの増築と大型バス駐車場を整備し魅力向上を図っていますが、増築は1店舗ですが、他店舗の希望や意見はどこまで取入れたのか、拡張を望む希望は無かったのか伺います。

また、指定管理者の選定では、出店者自身が法人化するなどの管理運営方法について検討する考えは無いのか

伺います。

田村村長

平成27年度に道の駅魅力向上プランを策定し、テナント会などから意見をいただいています。

花水山のリニューアルでは、物産スペースの拡張を第一とし、物販搬入時の駐車スペースの確保、各店舗へのグリストラップ整備や店舗裏への水道施設配置など、テナント会の意見を反映しています。

出店者の法人化による自主的な管理運営体制については、今年度から5年間は観光協会に指定管理者を担っていただきますが、そのような母体があり、より良い運営が可能であれば検討できるかもしれません。

店舗増築費に

450万円追加

一般会計補正予算

第1回臨時会

第1回臨時会は平成29年1月13日に開会し、

1日の会期で、議案2件を審議し、原案を可決して閉会しました。

◆指定管理者の指定

指定管理者を指定するため、地方自治法の規定により議会の議決を要するもの。

◆中札内村下水道施設に係る指定管理者の指定

指定管理者

有限会社 山田産業

○指定期間

平成29年4月1日～

平成34年3月31日

◆補正予算

一般会計補正予算で、歳入歳出それぞれ25

50万7千円の増額補正がされました。

その内容と質疑のあった主なものを掲載します。

歳出

○道の駅関連施設管理費

(道の駅店舗増築工事) 450万8千円増額

建設資材費高騰などによる入札不調により、

設計を再度行うため工事費を増額するもの。

(問) 資材費の高騰以外の理由は。

(答弁) 木材ロスの見方に乖離があったことやグリストラップの各テナントへの設置、冬季養生費計上などによる。

(問) 発注時期が12月まで遅れた理由は。

(答弁) テナント営業終了後の工事着手を要望されたことやテナント会との調整が遅れた

ことによるもので、今後の業務の適正執行に努める。

○除雪費

(除雪委託)

2000万円増額

降雪量の増により、1月以降の予算に不足が生じる恐れがあり増額するもの。

(問) 市街地の路線幅や交差点見通し確保のために、排雪も必要になるのではないか。

(答弁) 今後の降雪量によっては限界となる場所もあり、追加予算にはその対応も見込んでいます。

○公共土木災害復旧費

(災害復旧調査設計委託)

60万円

戸薦大橋復旧工事の資材価格等で、高額なものの単価策定を委託するもの。

編集後記

大雪と厳しい寒さを耐え抜いたふるさと中札内が、北の大自然の中で春の日差しをいっぱいに浴び、今まさに立ち上がろうとしています。

新年度がスタートし、ピカピカの一年生が大きなランドセルを背負い、スキップをしながら通学しています。

昨年「日本でも美しい村連合」に加盟をした中札内村、連合の目的でもある将来に向かっての美しい地域づくり、地域の活性化と自立の推進、観光的付加価値を高め資源の保護と地域経済の発展のため、村民ひとり一人が積極的に関わりを持ち、超少子高齢化が加速する現代社会の中で、全ての住民が健康で安心して生活ができるよう、議員一同、生活環境づくり、福祉充実の村づくりのお手伝いをさせていただきます。

四千人の村づくりのため、村民皆に中札内ファーストの輝きを示せる様に。

(中西)